

# フォレストニュース

**植林が地球を救う**  
平成24年(2012)4月10日  
**No. 52**  
発行 高津啓洋

## パンタナール 収穫の季節

今の時期、秋となるパンタナールはあらゆるものの収穫で忙しくなります。今年もグレープフルーツが多くの木にたくさん実っているという報告を受けました。残念なこと

は、マンゴの木が洪水に負けて、何本か枯死したことです。今年の収穫の写真がまだ届かないので、昨年収穫の写真と今年の実りの写真です。また菊芋がたくさんできました。これは菊芋の花の写真です。



## 生物多様性の保全

前号では、森林の持つ大切な役割について取り上げました。今号は森林と生物多様性についてです。

現在、私たちの生活が地球環境に与える負荷（地球の持つ資源量の生産能力以上を消費し続けます）は地球1.5個分に達し、なお増加し続けています。その結果、1970年からの約40年間に、世界の生物多様性は平均で30%も失われてしまいました。また、世界のサンゴ礁の30%が消滅したと言われています。

**森林の生態系**には、高木や低木、下草など多くの植物が飼育しています。さらに、その植物の実を餌としたり、木の幹や土の中などをすみ処にしている動物や昆虫が多く生息しています。このように、

森林は生物多様性に富んだ貴重な空間なのです。（生産と消費、分解等がバランスよく行われる循環系・サークルとなっています）

森林の伐採や植生の断片化などにより、こうした生物多様性は大きな影響を受けることになります。

例えば、断片化した森に生息する霊長類のテナガザルは、行動圏が限定され、近隣の森林に生息する他集団との交流がほとんどないことが分かっています。そのことは、繁殖や遺伝子の交雑の機会を失うため、個体数の減少につながります。

また、ミツバチのように植物の花粉を運ぶ役割を果たしている昆虫は、伐採によって生息数・種数が大きく影響を受けますが、一度減少すると長期にわたって回復することができません。

このような中、世界の森林は減少・劣化しています。例えば生物多様性の宝庫である原始的な熱帯林は毎年600万ヘクタールの速さで減少・劣化し、熱帯林に棲む動植物種は毎日100種が消失していると言われています。

生物多様性豊かな森林の減少・劣化をくい止め、次世代へ継承するための取り組みを加速させていく必要があります。

